



今年も国際園芸アカデミーの学生による花飾りを実施しました（令和5年12月13日～18日）

花の癒し効果及び岐阜県産の花のPRを目的に、県産花きを活用した可茂総合庁舎1階ロビーの花飾りを、令和5年度も実施しています。

今年も12月13日（水）から18日（月）まで、国際園芸アカデミーの花き装飾コース2年生による花飾り（卒業制作）を実施しました。

花飾りを実施したのは花き装飾コース2年生の森 葉菜（もり かな）さんで、テーマは「ソムリエ・ブランシュ（ソムリエの枝物たち）」。

花8種、実物7種、枝物7種の多様な花きで、色（茶色）と香り（各種香りのある花、枝物等）、果実（実物）からソムリエをイメージさせる飾り付けをしました。

森さんは、第61回技能五輪全国大会フラワー装飾職種競技に岐阜県代表として出場もしており、花飾り（卒業制作）に向け、飾り付けの構図を国際園芸アカデミーの講師の指導を受けながら考え、前日には何度も練習をして飾り付けに臨んだとのことでした。

